

職人技にこだわり68年 カザマランドセル

今回は粟原に本社工場がある「カザマランドセル」。ランドセル「筋」と思いきや元は学生カバンを作っていました。なせランドセルに転向したのか、また当時の様子やその想いは。テレビ雑誌の取材はもちろん、昨年は某有名シンガーのPVにも起用され、全国から注文が殺到するブランドになりました。近々桜井ショールームもリニューアルを迎えます。そんな職人の仕事にこだわり続けて、もうすぐ創業70年を迎えるカザマランドセルの魅力に迫ります。



新しくできる
ショールームに
ぜひ来て欲しい
ワン♪

看板犬チェリーちゃん♀

▲従来の桜井ショールーム。沢山の子供たちが訪れるたびに、看板娘(犬)のチェリーが歓迎してくれる

学生カバンからランドセルへ 転機がやってきた

カザマランドセルの現会長である風間春雄さんは御歳88歳。すっかりハキハキとしたお話しが印象的です。元々は大阪・大田町で革製品の材料屋さんとして、兄のもと18歳から見習いを始めます。

ある時、カバンを作ってみたいたと春雄さんがデザインしたものが何と大臣賞を受賞。これは商売に活かせると思つた矢先、本業の材料がさっぱり売れなくなる事態が発生しました。途方に暮れるところから番頭さんから「メーカーが違うところから買っている」との情報が。そんな不義理をするような取引はもう嫌だ、それならいつぞ自分カバンを作ろうと一念発起し、学生カバンの製作を専門として起業したのがスタートでした。

そこからがむしゃらに手仕事でカバンを作り続け、従業員も増え、年間8万個もの生産をこなしていました。20年ほど大田町で続けた後、手狭になつてきたので今度は大阪・我孫子へ移転。起業から約30年ほど学生カバンを作り続けていたある日、転機が訪れたのです。

取引先だった卸問屋協会の会長さんが「キミの仕事ぶりは素晴らしい、キミなら日本一のランドセルを作れるよ」と声をかけてきました。ランドセル作りは全く未知の世界だったため丁寧に断りましたが、3年



▲カザマランドセル会長、風間春雄さん

他のランドセルとの 一番の違いは「背カン」

ランドセルで最も重量がかかり背負い心地を左右する部分が、ベルトの付け根に入っているパーツ「背カン」。カザマランドセルはこの背カンで特許を取得しています。子どもさんの肩を包み込むような形状になつていて、これがランドセルが垂れない秘密。ここが垂れてくると重量が2割ほど増し長持ちしません。

横についているナスカンやファスナーといった金属パーツも様々な種類のデザインが揃えられていて個別に選べるのも、他ではあまりない趣向。親御さんも子どもさんにも、とても喜んでもらえるそうです。

時代や人気に左右されやすい色やデザインは、風間会長が最も大切にしている「常にお客様からの生の声を反映させる」「お客様本位でなければならぬ」という想いが反映され、ベテラン職人が作る技術とあいまつて、毎年ほとんど売切れるという結果に繋がっているようです。



▲熟練の職人さんが高い縫製技術で作る

一生に二度のランドセルに 6年間の責任を持つ

カザマのランドセルには6年間の品質保証が付いています。また全ての製品には当然ながらカザマブランドの刻印が入っています。「うちの名前も入っているし、私たちには6年間の責任がある。だからいい加

間ずつと誘われ続け、最後にはその会長さんが合成皮革メーカーの重役も連れてきて料亭で囲まれやってくるな」と念を押され万事休す。じゃあやってみますと答えたのがカザマランドセルの始まりでした。



▲昨年人気No.1だった女子向け。丁寧な刺繍が特徴

やるからにはトップを狙う 日本一のランドセル屋に

昔からやんちゃでケンカにも負けたことがないぐらい負けず嫌いな春雄さんの職人魂に火が着きました。ものづくりがとことん好きな春雄さんはデザインのバリエーションにもこだわり、丁寧な仕事を心がけました。約3年間、改良に改良を重ねて、ついにはオリジナルのランドセルが完成します。しかし手仕事に限界を感じ始め、どうしても手仕事でなければならぬ縫製などの工程以外を行う「自動機」を、自ら知り合いの鉄工所と共同で開発しました。実は今も工場にあるんですよ。

この機械、当時はかなり画期的で、ここから全国にこの技術が広まったおかげで中国に負けない市場が出来たといえます。また材料にもこだわりました。革材料屋さんで培った経験から、人工皮革の中でもトップクラスというクラレ社の「クラリン」を使用。撥水性、耐久性に加え、重さが皮革より1/2割も軽いのです。丈夫で子どもさんへの負担をより少なくすることを徹底的に追求しました。



▲工程が多く目まぐるしく作業が進む。時折笑い声が聞こえるが仕事は真剣そのものの

減なものとは作れない」と春雄さん。それは、やはり職人技が不可欠なことです。オーダーメイドと既成品では明らかに違いがあることに似ているかもしれませぬ。ひとつずつ職人が丁寧に作っているものは、仕上がりも全然違うとのこと。カザマでは一つのランドセルに約100パーツ、80工程をかけ約40名のスタッフで製造しているため、3万個弱しか作れません。百貨店や大手量販店などには、もって作つて欲しいと頼まれるのですが、一生に二度のものに対する責任と品質を保つため、今の数量に至ったのでしよう。

DATA

カザマランドセル
(有限会社カザマ)
kazamalandoseru.com

桜井ショールーム
営業時間/9:00~17:00

桜井市粟原666
☎0744-46-9251

近鉄・JR「桜井」駅より車で●分